

科目ナンバー： BC2012

授業コード： 2230200100

講義科目名称： 母性看護学Ⅰ

英文科目名称： Maternity Nursing Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎増澤祐子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期 【授業時間】 15時間 【担当教員】 【氏名】 ◎ 増澤 祐子 【所属】 新潟県立看護大学 【研究室】 311 【メールアドレス】 masuzawa@niigata-cn.ac.jp 実務経験のある教員が担当します 【本学の科目区分】 専門科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【DP1】 ○ 【DP2】 ◎ 【DP3】 ○ 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】
------	--

到達目標	1. 地域に暮らす母子と家族など母性看護の対象理解に必要な概念、特性について説明できる。 2. 政策を含む、地域に暮らす母子と家族など母性看護の対象への支援体制の実際について説明できる。
授業概要	母性看護学の基盤となる主要な概念について理解したうえで、セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツの視点から地域に暮らす母子と家族など、母性看護の対象を中心とした支援を実践するための基礎的知識を修得することができる学修内容で構成している。さらに、これらの学修は、母性看護の理念および母性看護の役割について考える学修過程である。
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：母性とは 学修内容：母性の概念、母性看護の役割、母性看護の対象、母性看護の基盤となる概念 事前学修：「母性」という言葉からイメージすること、「母性看護」の対象者について考える（15分） 事後学修：授業内容に該当する教科書の「第1章母性看護の基盤となる概念 A母性とは」に目を通し、授業内容の理解を深める（15分） 備考：増澤 2 授業内容 授業形態：対面 学修課題：リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 学修内容：母子保健に関する保健統計、リプロダクティブ・ヘルスに関する概念、法や施策 事前学修：「リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは何か？」について自身の考えをまとめる（15分） 事後学修：授業内容に該当する教科書の「第1章母性看護の基盤となる概念 Cセクシュアリティ、Dリプロダクティブヘルス/ライツ」、「第2章母性看護の対象を取り巻く社会変遷と現状」に目を通し、授業内容の理解を深める（30分） 備考：増澤 3 授業内容 授業形態：対面 学修課題：女性のライフサイクルと家族 学修内容：女性のライフサイクル（思春期、成人期、更年期、老年期）における形態・機能の変化、家族、母性・父性・親性の発達や母子関係の愛着についての概念 事前学修：「家族」の定義について考える（10分） 事後学修：授業内容に該当する教科書の「第1章母性看護の基盤となる概念 B母子関係と家族発達」、「第3章母性看護の対象理解 A女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化①、B女性のライフサイクルと看護」に目を通し、授業内容の理解を深める（30分） 備考：増澤 4 授業内容 授業形態：対面 学修課題：母性看護の実践に関する概念1 学修内容：家族を中心としたケア、女性を中心としたケア、ウェルネス 事前学修：日本助産学会の「助産用語集」（https://www.jyosan.jp/modules/journal/index.php?content_id=5）の「女性中心のケア」に

	5 ついて読む（10分） 事後学修：授業資料に目を通し、授業内容の理解を深める（20分） 備考：増澤 授業内容 授業形態：対面 学修課題：母性看護の実践に関する概念2 学修内容：ヘルスプロモーション、セルフケア、エンパワメント 事前学修：「エンパワメント」の意味について調べる（10分） 事後学修：授業内容に該当する教科書の「第1章母性看護の基盤となる概念 Eヘルスプロモーション」、「第4章母性看護に必要な看護技術 C③ヘルスプロモーションのための看護技術」に目を通し、授業内容の理解を深める（30分） 備考：増澤 6 授業内容 授業形態：対面 学修課題：周産期医療のシステムと母性看護における倫理 学修内容：日本における周産期医療システム、母性看護実践における倫理、医療事故予防 事前学修：「産科医療保障制度（http://www.sanka-hp.jcqh.or.jp/）」にアクセスし、「産科医療補償制度の実績と取り組みについて」の動画を視聴する（10分） 事後学修：授業内容に該当する教科書の「第1章母性看護の基盤となる概念 G母性看護における倫理」、「第2章母性看護の対象を取り巻く社会変遷と現状 B母性看護の提供システム」に目を通し、授業内容の理解を深める（30分） 備考：増澤 7 授業内容 授業形態：対面 学修課題：分娩期における看護 学修内容：Team Based Learning（チーム基盤型学習）を用いた演習 事前学修：TBLガイダンスを読んでくこと（10分） 事後学修：TBLを用いた演習を受講するために必要な事前準備の内容をまとめる（10分） 備考：増澤 8 授業内容 授業形態：遠隔 学修課題：妊娠期から育児期までの切れ目のない支援 学修内容：妊娠診断後から施設退院後の女性、家族への支援 事前学修：こども家庭庁の「こども家庭センター」のウェブページ（https://www.cfa.go.jp/policies/kokasen）にアクセスして、説明を読む（10分） 事後学修：授業内容を踏まえて、妊娠期から育児期に必要な支援について考察する（15分） 備考：ゲストスピーカー（母性看護専門看護師）
評価方法、評価基準	到達目標1～2に対して、試験100%
必携図書	森恵美, 他編（2025）：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論第14版, 医学書院
参考図書・資料等	有森直子編（2025）：NURSING TEXTBOOK SERIES 母性看護学I概論 第3版 女性・家族に寄り添い健康を支えるウィメンズヘルスケアの追求, 医歯薬出版株式会社
受講、課題、資料配布等のルール	・講義内で使用するため、スマートフォンやパソコンなど、各自デバイスを持参する。 ・配付資料は、講義の前日までにどこカレに公開するので、各自ダウンロードをする。 ・遅刻・欠席の場合には必ず科目責任者に授業開始30分前までにメールで連絡をする。
教員からのメッセージ	自律的に学修に取り組み、母性の概念や女性のライフサイクルなどの学びから、保健医療福祉にどんな課題があり、どのような支援が必要かを考えられることを期待しています。ともに母性看護の対象中心とした支援について学んでいきましょう。
オフィスアワー	随時(事前にメールで要予約)